

京都橘大学健康科学部臨床検査学科

米田 孝司*

はじめに

橘は日本固有の柑橘樹。みずみずしい常緑の葉と「ときじくのかくのこのみ」とも称される黄金の実は、古(いにしえ)より繁栄や長寿の象徴として尊ばれ、京都御所紫宸殿の「左近の桜・右近の橘」でも有名です。本学の前身である京都女子手藝学校が京都御苑の西に位置したことから右近の橘に象(かたど)り、「日本の文化に根ざした香り高い人材を育成する」誓いを託し、校名を「橘」と命名しました。

I. 本校の沿革と概要

1902年に京都女子手藝学校として京都市上京区に創立され、1967年に橘女子大学として開学(文学部)。1988年に大学名を京都橘女子大学に改称。2005年に男女共学化し大学名を京都橘大学に改称し、看護学部が設置されました。その後、医療系として2012年に健康科学部の心理学科と理学療法学科が設置され、2016年に救急救命学科、2018年に臨床検査学科と作業療法学科が設置され(写真1)、京都橘大学は6学部13学科から

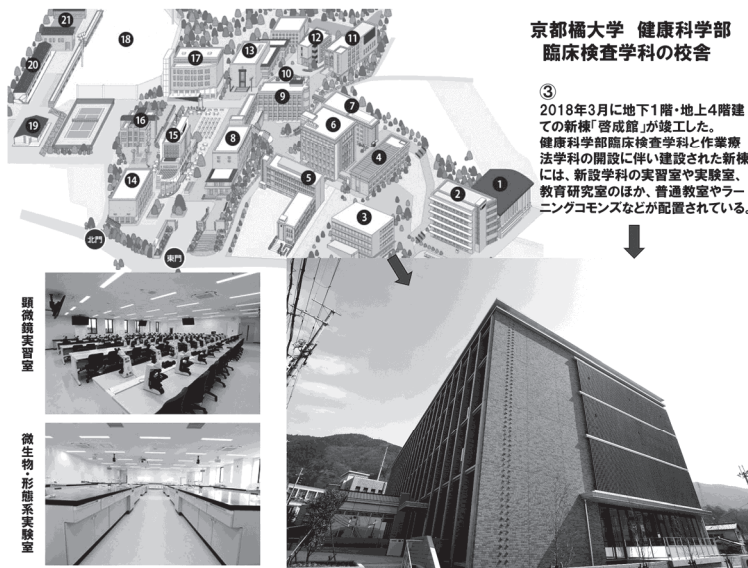


写真1

*京都橘大学健康科学部臨床検査学科 yoneda-k@tachibana-u.ac.jp

なる総合大学となりました。本年度で大学開学 51 周年の歴史がありながら、教育組織の新設や改編にも積極的であるので、キャッチコピーも「たちどまらない、たちばな」です。

II. 京都橋大学の教育理念

「自立・共生・臨床の知」を教学理念としています。つまり、独りよがりではない主体的な意見と、それに基づく判断を他者に向けて発信すると同時に、他者の意見・判断を偏見なく理解し、それらと交流して、意義ある人間関係を互いに結ぶことです。こうした人間関係こそが、近代市民社会発展の基盤となるものです。臨床での学修や国際体験など、現場と絶えず向き合うことによって、学内での教育と研究が、時にはその成果が検証され、また時には弱点が明らかにされてその改善を期すなど、決して社会から乖離することなく、むしろ社会との緊張関係において日々試され、向上することを意味しています。

III. 臨床検査学科の教育理念

広い教養を身につけ、専門の知識と技術を修得するところが大学です。本学は更に「自立・共生・臨床の知」を教学理念として、健康科学部は「こころとからだの健康と臨床」をテーマに取り組んでいます。それを実現するために臨床検査学科では、未病や疾病の先制医療だけでなく、健康や健康増進も考慮したバイオマーカーについて高度な専門知識と技術を修得して、常に科学への探求心を持ち、さらにチーム医療に貢献して社会で活躍できる人材を育成します。

IV. 臨床検査学科の教育目的及び目標

こころとからだの両面から健康や病気について臨床検査の目線で考え、自ら課題設定を行い、計画し、解決できる能力を養い、いつまでもモチベーションを維持させます。また、高度に進歩し続ける医療を支える臨床検査の専門知識とその技術を修得し、併せて社会人としての教養を備えた臨床検査技師を養成することを目的としています。

目標は、

1. こころとからだに関する専門知識と技術を修得した質の高い人材を育成する。
2. 臨床検査技師および細胞検査士として役立つ資格、検定技能を取得する。
3. 学内および臨地実習を通して実践的な知識や技術を身につける。
4. 他者との協調性、臨床検査に対する責任感、課題解決できる人材を卒業研究より育成する。
5. 国際化時代に対応できる人材を育成することです。

V. 臨床検査学科における教育内容

臨床検査学科のカリキュラムは、幅広い教養の修得を基盤とし、臨床検査技師養成校として資格取得に必要な基本的な科目を1回生からバランスよく配置している。また、早い段階から自身がめざす臨床検査を明確にし、3回生からはより専門的な臨床検査を学修できるコース別科目群を設定しています。更に、医学系の科目に心理学領域の科目を有機的に関連させ、こころとからだの両面から臨床検査を創造できる「真に人の役に立てる臨床検査」を目標に置いたカリキュラム構成となっています。

1. 幅広く豊かな教養と視野を身につけるため、人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い分野の科目を配置する。
2. 身体だけでなく、心理面からも科学的にアプローチできる能力を身につけるため、学部共通科目として「医療と心理」領域を配置する。
3. 生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけるため、スタディスキル、アカデミックスキル、医療人として必要な能力、研究能力について、4年間を通じて段階的に養成する総合演習(ゼミ)を配置する。また、4年次配置の「臨床検査総合演習」において、臨地実習で深化・統合してきた知識・技術の定着を図る。
4. 臨床検査技師に必要な基本的な知識と技術を身につけるため、専門基礎分野として、人体の構造と機能、生化学、病理学および医学検

査などに関する基礎科目を配置する。

5. 臨床検査技師に必要な専門的な知識と技術を身につけるため、専門領域として「形態検査学」「生物化学分析検査学」「病因・生体防御検査学」「生理機能検査学」などの科目群を配置する。
6. 卒業後にキャリアアップを図ることができるように、臨床検査技師関連の認定資格で求められる高度な専門領域について高度な専門知識に触れる領域別演習を4年次前期に配置する。
7. 臨床検査技師としての基本的な実践技術および施設における検査部門の運営などを学ぶため、3年次後期に京都・滋賀・大阪北部を中心に「臨地実習」を行う。
8. 細胞検査士資格認定試験受験資格を取得するため、講義と実習からなる「細胞検査士関連科目群」を配置する。

VI. 入学前教育と入学直後教育

臨床検査学科は、教学理念および学部・学科の教育目標を達成するために、次のような能力や資質を求めます。

1. 臨床検査を学ぶために必要な基礎学力を持っている人。
2. 病気というより病人を見据えた、常に相手や自分自身を考える優しい人。
3. 常に問題意識を持ち、計画から解決まで自主的に行える人。
4. 人のこころとからだに関心を持ち、臨床検査に関する向上心のある人。

臨床検査学科は、教学理念および学部・学科の教育目標に基づき、次のような能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学士(臨床検査学)の学位を授与します。

1. 臨床検査技師国家試験に合格するために必要な知識と技術を修得している。
2. こころとからだを科学的根拠に基づいた解析ができる。
3. 常に探求心を持ち、自ら研鑽できる能力を身につけている。

4. 高いコミュニケーション能力や倫理観を持っている。

VII. 臨床検査学科の特徴

1. チューター制度を実施しており、教員は1学年・約10名の学生に対応し、個人の成績だけではなく、多くの悩みなどの相談に乗っており、事務職員も同様な対応をしている。また、各学年にはそれぞれアドバイザーの教員がいる。
2. 先輩による学生フォローということで、本学にはオリター制度というのがある。今年度は1年目で先輩がいないので心理学科の学生さんから8名がオリターとして協力して実施している。臨床検査学科1期生の学生、教員、オリターの全員が集合することもある(写真2)。
3. AO入試や推薦入試などで早く入学が決まった学生には、臨床検査学科の場合は高校の生物と化学をWebにて自ら学ばせる。
4. 入学して直ぐに、新入生セミナーとして学外と学内(写真3・上)の演習があり、自己理解と他者理解のためのレクレーションおよび演習を行い、学生同士が仲良くなる。今年の臨床検査学科における新入生セミナーの学外では枚方パークに学生および教員全員がバスで行き、唾液検査と自己紹介などを行った。
5. 臨床検査学生学会(会費は学生負担)という、臨床検査学科の学生自らが企画(病院見学の場合は依頼から参加まで)をして、1年生から施設見学や学会参加などを行っている。
6. 授業では、私が担当している「心と身体の健康科学」「地域課題研究」「キャリア開発演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の科目がある。京都には有名な臨床検査関連の企業が有数あり、地域課題研究ではグループ毎に各企業を調べ、まとめ、見学し、発表する。
本学・全学科の代表学生が教員・学生の前で地域連携課題の学まちaward発表を行い、優秀な演題は大学より表彰される。今年11月に臨床検査学科の学生が地域課題研究の内容をまとめ発表したものが表彰された(写真4)。



写真 2



写真 3

7. 本学にはレジリエンス・プロジェクト研究というものがあり、各学科で地域連携の実績をもとに、地域の課題や貢献をする研究を大学全体で行っている。私は臨床検査学科として「在宅医療および未病のための新しいバイオマーカーやその技術開発」をテーマに研究参加している。
8. 本学は学生全員に成長実感アンケートを毎年行い、大学への各種満足度や教育に対する満足度・評価を行い、1年生から卒業までの成

長を確認する。

9. 本学は科研費等で不採用になった研究テーマに関しても大学内でできるように予算を組んで大学が支援している。

臨床検査学科は新しい学科として新しい企画ができるように支持して頂いているので、授業や実習(写真3・下)だけでなく、他学科や他大学とのコラボなどオリジナル的なことを実施していく予定です。



写真 4

おわりに

卒業後、医療施設、検査センター、試薬・機器の製造開発メーカー、研究所、教育機関等いずれの道に進もうとも、当大学で培った臨床検査の知識と技能を生かし、さらに発展を遂げられる人材を育成します。更に、豊かな人間性と高い倫理観

を持ち、他者と育ち合う気持ちを持った臨床検査技師を育成します。ただ、まだ1年生しかいないので、是非、諸先輩方のご指導ご鞭撻の程を宜しくお願いしたいと思います。